

(2) 日野北部地域

1) 地域の現状

【日野北部地域の概況】

本地域は、本町の北部に位置し、国道307号沿いには、日野第二工業団地等の工業団地があり、多くの企業が進出し、本町の経済を支える主要産業地域となっています。

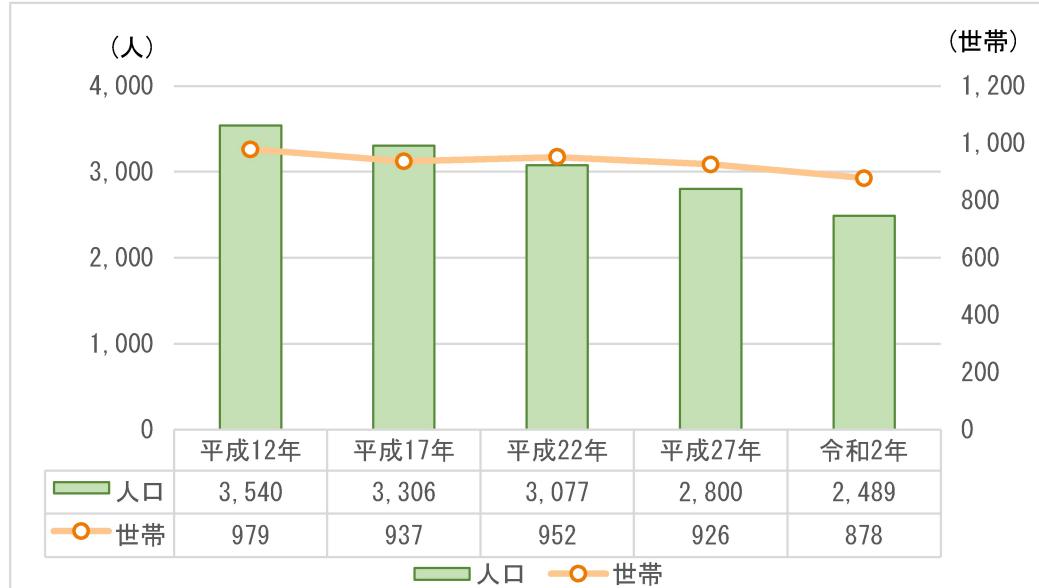
また、日野中部地域にまたがり、鳥居平・松尾地区に工業団地が計画されており、新たな本町の産業拠点として期待される地域となっています。

一方、地域東部には、鈴鹿国定公園に隣接した山並みが続く緑豊かな自然環境が広がっており、地域内に佐久良川が流れるとともに、田園風景が広がる農村集落地が形成されています。

【日野北部地域の人口・世帯】

本地域の人口は、平成12年から一貫して減少傾向となっており、令和2年には2,489人となっています。平成12年を基準とすると、20年間で約3割の人口が減少しています。

世帯数は平成12年の979世帯から減少し、令和2年には878世帯となっています。



日野北部地域の人口・世帯

[出典：国勢調査]

2) 町民意向

第6次日野町総合計画策定時に行われた各地区まちづくり懇談会(令和元年10月～11月に実施)より、本計画に関わる意見は以下のとおりです。

町民意向【日野北部地域】

区分	地域や仲間とできること	対応する 都市計画分野
商業	● 町内で買い物しやすい環境づくりを進める。	土地利用
森林	● 地域の山をみんなで散策して、木や草ののびている場所を見て対応を話し合う。	土地利用
観光と交流	● 観光スポット(インスタ映え)をつくることで観光客を増やす。 ● 近江バスや鉄道を使って、日野町内の歴史や文化財を尋ねるグループをつくる。	土地利用
生活環境	● 各字で空き家を把握する。 ● 空き家バンクを充実させる。	都市防災 ・防犯
消防 ・防災・防犯	● 防災通学合宿が定着ってきており、発展的に続ける。	都市防災 ・防犯

3) まちづくりの課題

町民意向等により、本地域におけるまちづくりの課題を以下のとおりとします。

まちづくりの課題【日野北部地域】

都市計画分野の項目	まちづくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○生活サービスの維持・充実 ○集落環境の維持・向上と定住の促進 ○工業団地の維持・充実 ○農地や里山の保全・活用 ○豊かな自然環境の保全・活用 ○レクリエーション施設の維持・充実 ○空き家の利活用と適正管理
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○農村集落地等と中心拠点・駅前拠点を結ぶバス等の利便性の向上 ○国道307号の渋滞解消 ○都市計画道路の整備促進 ○佐久良川の河川環境の維持・活用 ○公共下水道の計画的整備 ○日野清掃センター施設の維持・管理運営
市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ○既存工業団地の拡充 ○農村集落地の都市基盤等の維持・改修 ○移住・定住の促進のための計画的な宅地確保
景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ○国道307号沿道の景観形成 ○豊かな自然景観の保全・活用 ○佐久良川等の水辺景観の維持・向上
都市防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○佐久良川等の河川改修や排水路の適正整備・管理 ○浸水想定区域の適切な周知 ○土砂災害特別警戒区域等の適切な周知 ○地域拠点をはじめとした避難施設等の適切な確保 ○防災及び減災に対応した地域コミュニティの維持・充実

4) 地域の将来像

日野北部地域の将来像を以下のとおりに設定します。

【日野北部地域の将来像】

日野の活力を生む産業と豊かな自然が調和したまち

5) 地域づくりの目標

日野北部地域づくりの目標は、まちづくりの目標(全体構想)を踏襲し、以下のとおりに設定します。

若者・子育て世代から高齢者まで幅広い人にとって魅力ある住環境のあるまちづくり

→ 日野北部地域づくりの目標

- ◊ 豊かな自然環境を実感できる農村集落地の魅力向上による、住みたい・住み続けたいと思えるまちづくり
- ◊ 捎点+ネットワークによる生活利便性の向上を図った、住み続けることのできる住環境づくり

日野の大きな魅力である歴史と自然を活用した賑わいと交流のまちづくり

→ 日野北部地域づくりの目標

- ◊ 農村集落の暮らしと里山、豊かな自然環境と歴史観光を地場産業等の振興に活かしたまちづくり

広域的交通利便性の高さと日野の資源を活かした活力あるまちづくり

→ 日野北部地域づくりの目標

- ◊ 工業団地を計画的に確保した、安定した雇用の場づくり
- ◊ 自然・歴史観光や特産品の振興等による魅力的な地域産業づくり

広域から日常生活まで便利に移動できるまちづくり

→ 日野北部地域づくりの目標

- ◊ 捎点+ネットワークで支える安全で便利な交通体系のあるまちづくり

激甚化・頻発化する災害等に対応できる安全・安心のまちづくり

→ 日野北部地域づくりの目標

- ◊ 自然災害等に対応した防災・減災に効果的に取組むまちづくり

6) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 既存の産業集積を活用しながら更なる集積を促進するため、周辺環境との調和を図りながら工業用地の拡充を図ります。
- 豊かな自然環境を支える森林資源の保全・活用を促進するため、地元や森林組合等とともに森林施業の効率化や環境整備等を図ります。
- 農地の保全・活用を促進とともに、獣害に対する方策として里山整備等の検討を図ります。
- 豊かな森林資源や農地は、体験型学習・交流及び観光の場として積極的な活用を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 県道西明寺安部居線の整備促進により広域交通網の更なる充実を図ります。
- 都市計画道路の整備促進と広域連携軸・地域連携軸の利便性・安全性の維持向上を図ります。
- 「わたむき自動車プロジェクト」の実施による工業団地、農村集落地等の多様な移動手段の確保のため、通勤や町民のニーズを考慮したバス等の公共交通の利便性の維持・向上を図ります。
- 佐久良川等の河川環境の維持を図ります。

③ 市街地整備の方針

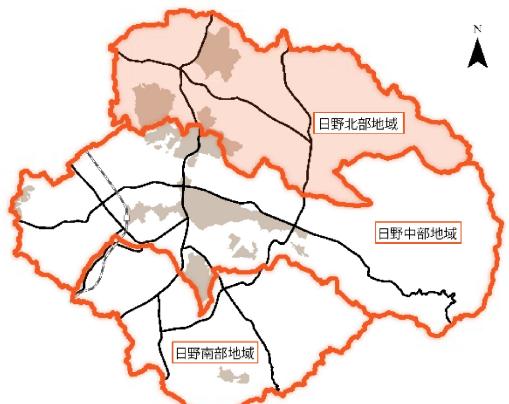
- 農用地区域の適切な見直しを含め、都市計画法に基づく区域区分の変更や開発許可制度の弾力的な運用を関係機関に働きかけ、多様な定住に対応できる住宅建築等の誘導・促進を図ります。
- 新たな工業用地の確保にあたっては、都市計画法に基づく区域区分の変更や市街化調整区域における地区計画制度等を活用し、周辺環境と調和のとれた土地利用転換の計画的な整備を図ります。

④ 景観形成の方針

- 鈴鹿山系の自然や景観を活かし、里山防災・緩衝帯整備事業等の琵琶湖森林づくり事業を活用した多様な森林づくりを進めます。
- 里山の整備と農用地区域等の適切な運用により、良好な里山・田園風景の継続的な維持・充実を図ります。
- 佐久良川について、周辺の自然景観と一体的な水辺景観の維持及び活用を図ります。

⑤ 都市防災・防犯の方針

- 佐久良川等の河川改修や排水路の適正整備・管理による浸水対策と浸水想定区域の適切な周知を図ります。
- 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域等の町民への適切な周知を図ります。
- 農村集落地の建築物の耐震改修促進を図るとともに、減災及び防災に対応した地域コミュニティの維持・充実を図ります。



日野北部地域のまちづくり方針図



凡例

- 地区界
- 市街化区域
- ◎ 役場
- 地区公民館
- 地区計画
- 広域連携軸
(整備済・整備中)
- 広域連携軸
(改良が必要)
- 地域連携軸
(整備済・整備中)

- | | |
|---|---|
| 森林保全地域 | 中心拠点 |
| 農地 | 駅前拠点 |
| 集落地域 | 地域拠点 |
| 河川・ため池 | 産業拠点 |
| 既存産業用地 | 自然レクリエーション拠点 |
| 新規産業用地 | |
| その他 | |

- ↔ 生活公共交通軸
- ↔ 通勤公共交通軸